

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

現在、循環器内科では、本学で保管している診療後の診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 一時的な機械的循環補助挿入患者における予後と合併症に関する観察研究

[研究対象者]

2018年1月～2025年3月までの間に、循環器内科、心臓血管外科、救命救急センターに入院し、一時的な機械的循環補助（大動脈内バルーンポンピング、経皮的心肺補助装置、循環補助用心内留置型ポンプカテーテル）を挿入した方

[利用している診療情報等の項目]

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、併存疾患名、心電図、心エコー、治療薬、採血結果等

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

一時的な機械的循環補助を挿入した方の治療成績改善につなげることを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2025年3月までの間（予定）

[この研究での診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 岩本絹子

研究責任者：東京女子医科大学 循環器内科 助手 大藪謙次郎

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 循環器内科 大藪謙次郎

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）